

# 青年懇話会40周年記念事業 記念講演会

## ～リーダーの条件～

講師／サッカー解説者 山本昌邦氏



本年度で青年懇話会が40周年を迎えました。そこで記念事業としてサッカー解説者山本昌邦氏をお招きし、平成23年11月24日東京大神宮マツヤサロンにて「リーダーの条件」をテーマとした講演会を開催しました。

冒頭に代表幹事より、「青年懇話会メンバーは各社においてリーダーシップの発揮が期待される立場ですが、昨今の変化の激しい時代においては通り一遍の号令をかけるだけのものでは通用しなくなっていることを実感させられています。一方で、日本国民を元気にする力を持つサッカー界で活躍をされている山本氏の講話から必ずヒントを得られるだろうという期待をもって講演会を開催することになりました。」という挨拶があり、開会となりました。

山本氏の講演は、これまでに日本代表として活躍している有名選手達の共通点の話から始まりました。ユース時代から見てきた山本氏の目には、当時の彼らは他の選手と比べて技術で劣っていた面もあったそうですが、目標をあきらめたり、ミスを人のせいにしたたり、決して問題を見て見ぬ振りはせず、それぞれ高い目標に向かって努力をしていたそうです。知識、体力、技術が10点満点の選手は日本中に数多くいるが、ワールドカップクラスの大会で活躍するためには、最終的にメンタルが人よりどれだけ強いかのものをいう世界だということでした。

また、過去のワールドカップでの日本代表チームのエピソードも語って頂きました。2002年のフランスワールドカップでのアウェイの環境では、若手選手だけではチームがまとまらない状況があったため、メンタルが何十倍も強いベテラン選手を急遽招集したことによって、足りなかった気合いとやる気がチームに生まれたそうです。特に私が特筆したいのが、現地の大学生との練習試合でモチベーションが上がらない選手達に、そのベテラン選手は、「これが俺たちのワールドカップだ!気を抜くんじゃない!」とあって積極的な試合を行い、ムードを変えさせた話でした。

さらに、山本氏の指導者としての持論もご紹介して頂きました。チームが勝利し選手がプレーで上手くいった時の話は、「今日の君たちはー」と言うようにして褒め、上手く行かなかった時の話は、「今日の我々はー」と言うように主

語を切り替え、監督とコーチと選手がみんなでミスを背負っているという共感を生み出して選手の心を掴むのだそうです。ハーフタイム時のミーティングでも、前半の分析後に、後半にやるべき事を伝える際には、選手自らが考えて自分の意志で行動するために心に火をつけるようにしていたそうです。「人を動かす」ということは「心を動かす」となるのだと力強く語って頂きました。

組織の中での上司と部下も同様で、誰のために自分は頑張るのか、何のために自分は頑張るのか、この二つのことがしっかり伝われば、部下は動いてくれるのではないのでしょうか。

山本氏のお話は、時にジェスチャーを交えて熱く語る演出により、分かり易くとも引き込まれる内容でした。

最後に来場者からの質問にお答え頂き、質問者にはご自身の本をサイン付でプレゼントもしていただきました。

講演会の最後は言うまでもなく、万雷の拍手喝采が起こりました。

講演終了後、青年懇話会40周年記念パーティーが田口理事長や青年懇話会OBの方々などをお招きし、盛大に行われました。

引き続き青年懇話会の活動へのご支援、ご理解を頂きたいと思えます。

広報委員 中野 肇／(株)東広



写真提供:株式会社ピーオービー